

委員会報告

2月28日の本会議において各常任委員会に付託された議案審査は、慎重な審査の結果、全議案について可決した。

総務常任委員会

質問 小城市行政財産使用料の一部改正に伴い職員の駐車料金を取るようになった背景は。

答弁 駐車場を整備し、多額の経費がかかることと、県内の7市はすでに有料になっている。

質問 みんなでエコ活動推進事業は昨年度は県の補助が付いていたが今年度は一般財源ですが、そこまでして事業をやるべきなのか。

答弁 市民の方と交流が始まり、芽が伸びてきている。補助がなくなったからやめるではせっかくできた接点が失われる。

質問 国民健康保険税率の改正分でのかなりの増額を想定しているのか。

答弁 大体7・7%増える収納率は現年課税分で93%で計上している。



▲職員駐車場

文教厚生常任委員会

質問 4月から放課後児童クラブの指導員の派遣採用について、業務委託するということが、指導員の選任の対応は。4月1日からの受け入れで条例改正は必要ないか。

答弁 市が面接を行い、委託事業者へ推薦する。運営は要綱に基づいており、今後教育委員会に諮って改正をお願いしたい。

質問 NPO法人佐賀県放課後児童クラブ連絡会へいろいろな権限が移ってしまうと危惧するが。

答弁 全体のクラブ運営は、責任等を明確に位置づけ市教育委員会の事業として指導監督にあたる。

質問 契約期間は。

答弁 1年更新で考えている。一定期間連絡会の状況をみて、3年とかの長期契約も視野に入れながら、今は1年更新で考えている。



▶放課後児童クラブでも元気いっぱいの子どもたち

産業建設常任委員会

質問 6次産業化事業の企画、コーディネートにCSOに委託しようとしているが、今やっている生産者にできないか。

答弁 6次産業に近い方がいるので普及センターと相談していく。

質問 市民交流プラザの建設する前までに受入れ管理組織を作るべきでは。また事業が26年度までであるが、時間的に大丈夫か。

答弁 早い時期に受入管理運営会社を作る。建設期間は14、15月必要で、9月末に実施設計を終え、その後に予算計上。

質問 小城市道は、西部広域水道からの原水の今後の増減と水道料金の影響は。

答弁 給水人口減により事業収入の減少で今回改定した。今後の見通しは、3年後の経過を見て判断する。



▶まちなか市民交流プラザ完成予想図